|  |
| --- |
| 研修名：若手教師による学び合いで教師力を高める研修～「課題探究的な学習」を取り入れた授業の充実～ |

|  |
| --- |
| 目　的：授業開始15分間において、子どもが事象へ働きかけながら、自ら課題を見出すことのできる「導入」の在り方について学ぶ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学校種 | 小・中学校 | 研修時間 | 30分 |
| 対　象 | ・「課題探究的な学習」の授業展開に悩みを抱えている若手教師・先輩教師及び研究・研修を担当している教師 |
| 配付物 | ・学習指導案（若手教師作成案・先輩教師作成案） |

■　展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 主　な　内　容　 | 備　考 |
| （事前）２分５分17分５分１分 | １　若手教師・先輩教師の授業導入場面（15分間）を参観○　参観の観点・子どもが興味・関心、疑問を十分にもっているか。・子どもが意欲を持続させることのできる課題であったか。２　オリエンテーションミニ研修の目的を確認する。３　演習（メモ）：個人　○　若手教師・先輩教師のそれぞれの授業について、課題を見出す導入場面を「参観の観点」をもとに振り返る。・効果的であった手立て・より有効な手立て４　協議：全体交流（若手教師による学び合い）○　演習内容について協議　・提示資料の内容・方法・タイミング　・子どもの実態等と課題の設定５　先輩教師から助言○　「参観の観点」から助言　・課題設定の意図・導入場面の手立ての意図・導入場面における様々な工夫６　まとめ研修内容を日常の実践へ生かすよう促し、研修のまとめとする。 | ※「参観の観点」を明確にする。※授業を参観して、思ったことや感じたことを積極的に発言することで、授業を見る目を養う。※協議したことや助言されたことを、自分の学級や授業で実践するよう促す。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 期待される効果 | 「課題探究的な学習」を取り入れた授業の充実に向け、授業の導入場面に絞った参観及び研修をすることで、事象への働きかけから課題の把握・設定に至る授業展開について焦点化して学ぶ効果が期待できる。他にも、「活動場面」「授業後半」等を参観し、本展開と同じような研修を実施することが可能である。また、本研修の効果を得るために一番大事にしたいことは、「学んだことを実践すること」である。 |